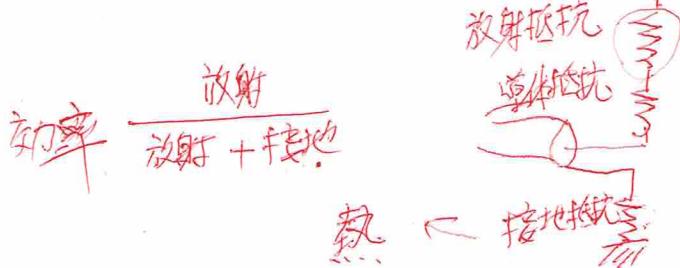


- ① 接地アンテナの電力損失は、ほとんど接地抵抗による誘電体損失であり、放射効率をよくするためにには、接地抵抗を小さくする必要がある。 X 誘電体損失
- ② 深掘接地は、銅板を地表下に埋設し、湿気を保つため木炭、塩或いは接地抵抗低減剤をその周囲に混合するとよい。
- ③ 放射状接地は、アンテナ基部を中心と放射状に導線を埋設したものである。
- ④ 乾燥地など大地の導電率が小さい所での接地のためには、地上に導線や導体網を張り、これらと大地との容量を通して接地効果を得るカウンターポイズが用いられる。



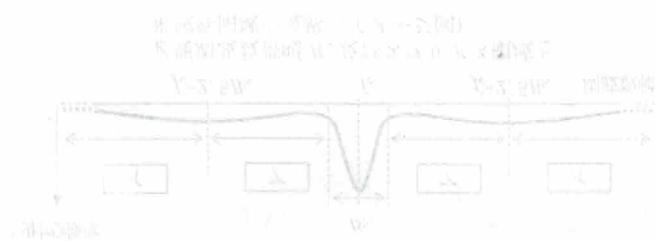
- 0 エネルギー吸収 3 Y 8 フィード・アームの電流 10 線路
1 墓碑式塔波 3 W 7 放射状導線構造 9 絶縁 8 20

(A) 運用中の防波壁を設置する場所に手に入る予算は、■ に対するものとする。
→ A が正解。防波壁を設置する場所は、手に入る予算がある。

(B) 電波消去装置として用いられる回路は、■ に対するものとする。
→ C が正解。電波消去装置として用いられる回路は、回路図で示すように、電源と並列に接続される回路。

(C) 電波消去装置を設置する場所は、■ に対するものとする。
→ A が正解。電波消去装置を設置する場所は、電源と並列に接続される回路。

(D) A で動作する方式は、他の B の動作原理と異なる。
→ A が正解。電波消去装置は、他の動作原理とは異なる。



四角柱型のアントラーンを用いる場合

→ A が正解。アントラーンは、内筒外側壁に沿って走る電場の振幅が最も大きい。外筒内側壁に沿って走る電場の振幅が最も小さい。

→ B が正解。内筒外側壁に沿って走る電場の振幅が最も大きい。

→ C が正解。内筒外側壁に沿って走る電場の振幅が最も大きい。

→ D が正解。内筒外側壁に沿って走る電場の振幅が最も大きい。

→ A が正解。内筒外側壁に沿って走る電場の振幅が最も大きい。

→ B が正解。内筒外側壁に沿って走る電場の振幅が最も大きい。

→ C が正解。内筒外側壁に沿って走る電場の振幅が最も大きい。

→ D が正解。内筒外側壁に沿って走る電場の振幅が最も大きい。

→ A が正解。内筒外側壁に沿って走る電場の振幅が最も大きい。

→ B が正解。内筒外側壁に沿って走る電場の振幅が最も大きい。